

分野	補完的な道路の整備			事業番号	86	事業名	県単道路改築			
市町村名	上田市	ふりがな 箇所名	(一) 上田塩川線 <small>うえだしおかわせん</small>			いくと 生田	事業年度 (完了年度は見込み)	H24年度～	H27年度	
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路拡幅改良工 L=530m W=6.0(10.0)m					H23年度末事業進捗率	0%		
	H24年度以降降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%		
	H24年度実施内容	測量設計一式					用地補償費ベース	0%		
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降降				
財源内訳	事業費計(千円)	200,000	0	0	16,000	200,000				
	国庫支出金	0	0	0	0	0				
	その他									
	県債	180,000	0	0	14,400	180,000				
一般財源	20,000	0	0	1,600	20,000					
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評価			ランク	評点			
	(30)	必要性	計画交通量	4,000台/日以上	1,500台以上～4,000台/日未満	1,500台未満	B	4		
			代替道路	唯一の道路である	代替となる道路がある			0		
		ネットワーク (道路網)	バス路線である		B 駅やICなどに通じる または 役場と交通結節 点や支所などを結ぶ路 線	A及びBに該当しない		3		
			ボトルネック箇所		ボトルネック箇所でない			4		
		観光地に通じる道路		観光地に通じる道路で はない		0				
		各事業特有の必要性(安全の確保)	4.0m未満又は30m未満 又は8%以上(幅員、半 径、勾配)	4.0m以上5.5m未満(幅 員)	5.5m以上(幅員)			0		
			自動車と自転車・歩行 者との分離を図る	歩道はあるが不十分で あるものを再整備	自動車と自転車・歩行 者との分離がなされてい ない			4		
	他事業との関連	河川改修、新幹線、高 速道などの事業に関連 して実施				0				
	小計						15			
	(10)	重要性	設計上の環境・景観配慮	環境・景観配慮がされ 確実性が高い	環境・景観配慮がされて いるが確実性が低い	環境・景観配慮をしてい ない	B	5		
			地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位 置付けられている	緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪 地域、過疎地域、地震防災対策強化地 域、観光圏整備実施計画認定地域に位 置付けられている	特別な位置づけはない		0		
		小計						5		
	(20)	効率性	費用対効果	B/C(3便益)1.0以上	B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から一 定の効果が得られる)	B/C(3便益)1.0未満	A	5		
			事業効果の早期発現 (H24以降降事業年数)	事業年数 3年以内	事業年数 4年～5年以内	事業年数 6年以上		5		
コスト削減		全体的に構造物・規格等につ いてコスト削減を実施してい る。	部分的に構造物・規格等につ いてコスト削減を実施してい る。	コスト削減はしていない	5					
小計						15				
(20)	緊急性	安全性の向上	交通事故や落石等の危険 箇所の安全を向上させる	交通事故や落石等の危険箇 所指定はないが安全を向上さ せる	交通事故や落石等の危険が ない	B	6			
		各事業特有の緊急性(医療・福祉)	医療・福祉の連携が発揮 できる道路(ネック箇所の 解消)	医療・福祉の連携が発揮 できる道路(円滑化が図れ る)	医療・福祉の連携に関係 ない道路		6			
	小計						12			
(20)	計画	地域からの要望	地域住民の内発的な要 望が強い	市町村からの要望	特に要望がない	B	5			
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者中心に周知	特に周知していない		5			
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接 参加	住民や市町村の意見を 計画策定に反映	特に住民意見は反映し ていない	4					
	小計						14			
費用対効果(B/C)		10.4			評価の合計		B	61		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	上田市大屋、丸子地区は、国道152号の慢性的な渋滞に悩まされており、国道18号、152号の渋滞対策が重要課題となっているなか、迂回路線として位置付けられる市道丸子小牧線で平成23年4月落石災害が発生し、上田市からトンネル整備による防災対策案が示された。国道152号と丸子小牧線を接続する当区間を整備することにより、迂回路線としての交通円滑化を図り地域一帯の渋滞対策に寄与するとともに、歩行者の安全確保を図りたい。								
	地域からの要望経緯	国道152号沿線の上田市大屋地区、丸子地区から、国道152号の渋滞対策を求める強い要望がある。								
	事業説明等の経緯	市道の改良予定があり、近隣住民へ周知されている。また、大屋駅周辺道路計画検討委員会において渋滞対策の一案として検討されている。								
	環境・景観への配慮項目	構造物ではなく、土羽構造による緑化を図り環境へ配慮。また極力、現道を利用するルートを検討したい。								
	他事業・プロジェクトとの関連	「大屋駅周辺道路計画検討委員会」								
特記事項	市役所と連携し、住民の意見を聞きながら計画策定していきたい。									
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	生活道路としての安全確保および大屋駅周辺の渋滞対策へ寄与する事業であるため、平成24年度から事業化をしたい。			政策評価課 見	ボトルネック箇所解消の必要性が認められる。					